



議会だより

あまぎ

令和6年
12月定例会

令和7年1月24日
第134号



目次

● 天城町議会議長新年のご挨拶	P 2
● 一般質問	P 3
● 【令和6年12月議会】提案された議案等の議決結果	P11
● 令和6年 町民と議会と語る会・編集後記	P12

表紙 / 天城カトリック幼稚園の園児たち（年少～年長児）

新年のご挨拶



天城町議会議長
上 岡 義 茂

あけましておめでとうござい
ます。

町民の皆さま方には、令和7
年の輝かしい新春を健やかに
迎えることと心からお慶び申
上げます。また、日頃から天城
町議会への深いご理解と、議
会活動に対する温かいご支援・
ご協力を賜り、厚く御礼申し上
げます。

新しい年を迎え、天城町のさ
らなる発展のため、議会も引き
続き努力してまいりたいと決意
を新たにしているところです。

さて、昨年の天城町を顧みま
すと、10月1日に「ジェンダー
平等推進のまち あまぎ」の宣
言が行われました。

この宣言を機に、全ての人々
が性別や年代、立場に関係なく、
自分らしく暮らせる社会の実現
や、誰もがこころ豊かに笑顔で
暮らせる町を目指し、男女共同
参画・ジェンダー平等の実現に
向けて全町挙げて取り組んでま
いりましょう。また、11月14日
には天城町が九州で初となる国
連世界観光機関のベストツーリ
ズムビレッジの認定を受けまし
た。世界自然遺産登録と合わせ、
国内のみならず国際的認知度が
高まり、更なる魅力向上への期
待が高まります。今後一層の自
然・文化遺産の保全と持続可能
な観光地域づくりが求められる
ところですが、行政、議会、そ
して何より町民の皆さまが一緒
になって取り組む必要があるか
と思いますのでよろしく願い
致します。

昨年、石破内閣総理大臣は所
信表明演説で、日本の活力を取
り戻し多様な幸せを実現するた
め「地方創生の再起動」を進め
ると強調されました。進む人口
減少の中でも、活力ある天城町
を後世へ引き継いでいけるよ
う、議会も様々な施策について
行政とともに考え、行動し、元
気な天城町から元気な日本がつ
くられていくよう進めてまいり
ます。

結びに、町民の皆様方にとり
まして輝かしい良き一年となり
ますよう、ご祈念申し上げます。私
ども議会といたしましても町民
の声を真摯に受け止め、さまざ
まな町政の課題解決に向けて全
力を尽くし邁進していく所存で
ございますので、なお一層のご
支援、ご協力を賜りますよう、
心からお願い申し上げます。
新年のご挨拶と致します。



奥 好生 議員

動画はコチラ
00:16:08 ~



問 定例町議会をどのように認識しているか

答 より良い町政の実現に尽くすことが求められる

問 「行政運営について」町の会議で最上位にある定例町議会をどのように認識しているか。

答 議会は、地方公共団体の意思を決定する機能及び執行機関を監視する機能を担っており、地方自治法96条に掲げる議決事項により条例制

定や予算の決定などの重要事項を決定する権限を持ち、それを経て執行部は予算を執行する権限を有することが出来る。そのため議決機関である議会と、町政をおこなう私（町長）をはじめとする執行機関の関係は、「車の両輪」として対等

の立場に立ってお互いに尊重し、議論しあいながら、より良い町政の実現に尽くしていくことが求められているものと認識している。

問 町長部局以外の執行機関に配属されている職員の資質向上と監督責任について。

答 教育委員会、議会事務局、農業委員会など、町長部局以外の職員についても、町長部局の職員と同様に各種研修を実施し、資質の向上に努めている。監督責任については、各課に管理職として課長や事務局長を配置しており、職員の管理監督の責務を担っているが、最終的な責任は町長にあると認識している。

問 委員会・審議会等の議事録の作成、公表について。

答 議事録の作成、公表については、各委員会や審議会の会議規則等に基づき作成、公表されるものと認識している。また、規則等で議事録の作成が謳われていない会議等においても、その要旨を記録し備えておくことは、必要であると考えている。

問 「観光振興について」現在の取組と今後の計画について。

答 外国人観光客（インバウンド）の増加が予想されることから、現在補助事業を活用して天城町HPの多言語化への改修を進めている。町内の観光地や飲食店を多言語でも紹介出来

るよう進めていく。今後の計画については、本町の歴史、文化、自然環境を保全・継承し、持続可能な観光地を主眼に置き、ハード・ソフト両面からの整備、充実を図りたい。

問 「徳之島空港ビルの建替えについて」計画の予定について。

答 令和5年9月20

日に鹿児島県庁港湾空港課を訪問し、空港ビル及び貨物ビルの現状報告と建替えについて説明してきた。現在、徳之島空港ビル株式会社では耐震診断を発注しており、本年度末には結果が出る。その結果を踏まえ、建替えか増改築の議論を進めていきたいと考えている。町としても、



徳之島空港ビル

関係機関との調整や財源面について空港ビル株式会社と連携して取り組んでいく。

問【農政について】新農業ビジョンの策定について。

答 令和7年度に見直しを行う農業ビジョンですが、ここ2年は子牛価格の低迷などにより、目標の45億円に到達できずにいる。物価高騰や自然災害の頻発、地球温暖化対策の脱炭素など農業を取り巻く環境は大きく変動している。これらを踏まえた議論をしつかり重ね、次期農業ビジョンに反映させたい。

答 現在、町営住宅への入居待機世帯のうち、子育て世帯の8世帯が南部地区を希望している。町内の方から、大津川の土地を有効活用していただきたいということで、寄贈を受けること、これまで進めてきた町単独事業の木造住宅がこの枠に旨くはまるのではないかと、集落の意向等を伺いながら、進めていければと考えている。農業センター入口横の農業祭時に駐車場として使っていた土地の活用については、土地の調査・確認が必要だと思っている。現在の地勢状況から今後の農業祭の開催は厳しいと思う。南部地区の振興に寄与できる方策を、地域の方々と一

緒になって知恵を合わせながら、住宅建設・子どもの遊び場設置も含めて考えていく。

問【教育行政について】徳之島高校バス通学支援補助について。

答 令和6年10月15日に本町出身の徳之島高校の生徒達に直接話しを聞いた。自家用車での送迎やバイク通学がほとんどで、バス通学は時間的な制限等があり、支援補助の活用がしにくいという事を改めて認識した。次年度以降はバス通学以外の生徒にも、経済的負担を減らす為に支援ができないか検討を進めている。



松山小百合 議員

動画はコチラ
1:53:37 ~



問 町民体育祭を盛り上げるには

答 新たな種目を検討したい

答 町民体育祭とは、スポーツをする意欲を高め、町民の交流を図り、スポーツを通して健康、体力づくりを図るもの。大会参加を通し集落の活性化から町の活性化へ波及し得る大切な行事なので、スムーズな運営のために必要なフィードバック体制の確認や

新記録の加点、中高年世代の種目追加の提案を受け、前向きに検討したいという答弁だった。

問 あまぎ自然と伝統文化体験館オープンに向けて

答 令和8年4月以降に開業予定。きちんとした品質基準で工期内の完成ができるよう進捗管理

の監督をします。【直売所開設準備の進捗について】地域づくり協議会と農政課を中心に準備にあたっているが、出荷生産者数とその掘り起しについての現状を確認し、作付け計画表を作成する。障害者の就労支援で町内の障害福祉サービス事業所の方に、直売所の一角で



体験館内へ設置を提案した遊具のイメージ



体験館内へ設置を提案した直売所のイメージ

カフェの運営については、ジェンダー平等宣言をした町として、障害者福祉の充実という視点を持つ必要性を感じている。

【闘牛やイベントがない時の活用について】

現段階での開催できる闘牛やイベントに

ついてはそう多くなく、施設（直径20メートルのサークル）を有効活用するためにも、梅雨時期や猛暑時期において撤去が可能なエア遊具の暫間的な設置を検討したい。



喜入伊佐男 議員

動画はコチラ
01:30:22～



問 天中グラウンドの水はけ対策と雑草除去を

答 早急に整備する

問 〔環境整備について〕天城中学校グラウンドの水はけ対策及び外周の雑草除去について。

答 天城中学校のグラウンドは、正門入口から校舎の間の水はけが悪いという事とフィールド内に草や芝生が入り込んできているという状態を教育委員会としても把握をしている。生徒たちが体育等の授業で安全に活動できる場、地域住民との交流の場としてもとても大切であり、今後は早急に整備を

進めていきたい。

問 B & G 海洋センター内すばく天城の室内へ扇風機を設置できないか。

答 現在 B & G 海洋センターには5台の業務用の大型扇風機があり、内2台はトレーニング室とプールで使用している。そのため、すばく天城でイベント等がある場合に、暑さ対策や熱中症対策で貸し出しができる業務用大型扇風機が3台と少ないため令和7年度の当初予算において予算計上を検討している。

問 〔兼久地区の畑地帯総合整備事業計画について〕令和6年度の進捗率及び令和7年度以降の事業計画について。

答 令和6年10月16

日に徳之島地域国営・附帯県営事業等に係る意見交換会に来島された、鹿児島県農地整備課長及び国営事業対策監に対して、本町の要望や課題、5項目について要望した。兼久地区の畑地帯総合整備事業については、令和6年8月2日に地区内に耕作面積50a以上の方、51名を対象に、事業概要、計画図面、作業スケジュール等について、大島支庁徳之島事務所農村整備課及び土地改良連合会から説明がなされた。令和7年度は、畑地帯総合整備事業に対しての意思確認、同意徴収、推進委員の確定を行っていく。



議員 大 吉 皓 一 郎

動画はコチラ
00:07:14 ~



問 観光地の整備状況は

答 計画的に進める

問 「創生あまぎについて」観光地（犬の門蓋・高釣・上名道森林公園）の整備について。

答 高釣の崖は鉄パイプで安全対策を行った。町民から犬の門蓋まで両サイドから草が生い茂り離合もできず車に傷もできたとという声もある。道幅が狭くGWや夏休み、正月の期間を

中心に観光地の状況をつぶさに把握し計画的に環境整備を進めていく。

問 庁舎内の整理について。

答 現在キャビネットが高く積まれ危険である。書庫の整理が追いつかない。改めて各課の文書管理を年末に向けて指導していく。安全対策も年末にかけて早急

に行う。

問 海岸保全施設整備事業（千間地区採択）について。

答 令和6年10月16日本町で県農地整備課長及び国営事業対策監に対して、本町の海岸保全施設整備事業（千間）については耕作環境の保全と観光資源を目的とした、駐車場整備、海岸入口にある未整備区間の道路改良、障がい者や車いす利用者等が夕日を眺められるようなスロープ設置等の要望をした。令和9、10年度に県で計画する。

問 「建設行政について」名須3号線の整備状況について。

答 設計と測量業務が終わり用地交渉中である。令和7年度から工事着手する予

定（延長210m、車道4m、側溝50cm）。

問 「教育行政について」教育委員会の各施設の管理・各種事業は適正に行われているか（全国学力・学習状況調査結果（4月に6年生対象）及び各施設の運営について）。

答 10月に町内の中学生4名をアメリカ・カリフォルニア州へ海外派遣し英語でのコミュニケーションや文化の違いを体験させた。

オンラインを活用した東大ネットアカデミーを実施し授業内容の充実を図るとともに模擬テストにも力を入れ、学力向上を図っている。

全国的に10月27日、11月7日まで読書の秋であるのに本町の

図書館は10月22日から11月4日まで休館にしており図書館の役目を果たすよう努力したい。



観光地（犬の門蓋）



議員 柏木 辰二

動画はコチラ
01:35:10 ~



問 兼久小学校校庭の改善を

答 今後も整備計画を進める

問 「教育行政について」兼久小学校の校庭は水はけが悪く、支障をきたしているが、今後の改善計画はどうなっているのか。

答 兼久小学校のグラウンドの校舎側は、水はけが悪く、子ども達の登下校時に支障をきたしているということからは、教育委員会としても認識している。問題を解決するため、正門から校舎南側まで一部コンクリートの歩道を整



兼久小学校校庭

備したり、水はけ升を新設したりと対応はしているが、根本的な解消には至っていない。今後も整備計画をしつかりとすすめていきたい。

問 教育委員会で、天城町の歴史に関する教本を作成する考えはないか。

答 天城町教育委員会では、「天城町の文化財をたずねて」

という町指定文化財や史跡、記念碑などを紹介する冊子を平成3年に作成している。作成から30年以上の年月が経過しているとともに、この30年で多くの文化財調査が進み、新たな知見が得られている。これらを盛り込んだ新たな教本の作成を前向きに検討していく。

問 「建設行政について」令和5年第2回定例会で質問した、県道伊仙・天城線の冠水箇所はどのような対応がなされたのか。

答 前回ご質問を受け、県の方には、状況説明及び対策の要望を続けているが、解決には至っていない。近年、全国的に広い範囲で記録的豪雨が発生しており、直近では与論町で11月8日から10日にかけての豪雨で甚大な被害が発生している。天城町においても、令和3年に「50年に1度の記録的大雨」を観測するなど激甚化及び頻発化している状況である。県によると、『愛心園入口から瀬滝公民館までの約450m

区間、また兼久小学校から天城町役場方面に約450m区間が、車道の西側にU字側溝が無い区間であるが、車道に降った雨水については暗渠パイプにより歩道内のU字側溝に誘導し排水している。現在、道路パトロール等で雨天時の状況を継続して確認しており、一定量の降雨量があった場合において、一部区間について雨水が溜まる状況である。引き続き、雨天時の路面状況を確認しながら、限られた予算の中で効果的な対策を検討していく。また、排水能力が低減しないよう暗渠パイプの清掃など適切な維持管理に努める。』という回答をいただいております。

県の対策を待ちたいと考えている。

問 町道瀬滝三京線の法面崩落箇所は、今後どのような対策を計画しているのか。

答 町道瀬滝三京線については、令和7年度に測量・設計を計画していく。設計が終了したら、緊急自然災害防止対策事業を活用し、法面崩壊防止対策工事を進めていく。

問 「土地規制について」6月議会後の取組状況はどのようなになっているのか。

答 土地規制については、令和6年第2回定例会においてもお答えしたが、その土地の区域や内容に応じて、各種法令に基づき届出や許可申請等が必要になる場合がある。令和6年

第2回定例会におけるご質問では、特に安全保障上の観点から、土地取引に対するご懸念をいただいたものと認識している。その後の取組としては、11月21日に徳之島三町担当課長による協議を行い、住民生活への影響が予想されるような大規模な土地取引等の情報があつた際には、三町で情報共有を行うことの申し合わせを行っている。

問 町有地の管理と払い下げの状況はどのようなになっているのか。

答 町有地の管理については、行政財産については所管する課の管理、普通財産については総務課にて管理している。普通財産における町有

地については、把握出来ていない土地が多くあるのが現状である。地籍調査の実施に伴い確定できる土地もあるが、実施区域以外の町有地についても、今後年次的に調査費を確保し、地籍等の確定を進めていく。町有地の払下げ状況については、町有地払下げ・貸付等審議委員会を経て、本年度は里道3件の払い下げを行っている。



久田 高志 議員

動画はコチラ
01:17:02 ~



問 交通弱者への支援を

答 現在計画を進めている

問 「福祉行政について」交通弱者への支援策についてどのような検討がなされているか。

答 交通弱者への支援策については、現在徳之島3町による徳之島地域公共交通計画を策定中で、この中で交通弱者に対する移動手段の確保を盛り込む予定。令和6年10月より高齢者に必要な生活支援

を把握するため、要支援1・2認定者・ボランティアグループの支援を受けている方等を対象に『生活支援のニーズ調査』

(移動手段・買い物・食事・ゴミ捨て・掃除・洗濯)を実施している。今後関係部局と連携を図りながら、交通弱者への支援に取り組んでいく。

問 「農政について」

畜産振興及び支援策についてどのようなように考えているか。

答 資材高騰とセリ価格の低迷により、畜産は大変な苦境に立たされている。抜本的な解決にはならないが、今議会会で『天城町畜産経営安定対策事業』(セリ出荷牛・自家保留牛含む1頭10,000円の補助)を実施する(期間は令和6年4月~9月分までと10月~令和7年3月分までの2回に分けて助成)。

問 旧公共育成牧場圃場跡地を有効活用(自給飼料の生産)できないか。

答 有効活用したいと考えている。自給飼料の生産は国も重点項目に掲げているので補助事業等がな

いか調査し、町と他団体との業務委託が直営になるか、しっかり計画を立案し畜産農家の経費の軽減や子牛の品質向上につながるよう進めていきたい。

問「行政運営について」物価上昇による生活困窮者への支援（国の支援＋町の支援）は検討できないか。

答 物価上昇による生活困窮者への国からの支援は、令和4年度の住民税非課税世帯に5万円、令和5年住民税非課税世帯に3万円と7万円、住民税均等割のみ課税世帯に10万円、令和6年度には新たに住民税非課税及び均等割のみ課税となった世帯に10万円給付して来た。



臨時国会の補正予算案に住民税非課税世帯へ3万円給付及びその世帯において扶養される18歳未満の子供1人あたり2万円の加算が計上されている。国の支援ばかりでなく町単独の支援も検討しなければいけない。今町民が何を望み、何を欲しているか町全体で把握して国の支援に上積みできるような支援を考えていきたい。

問 温泉掘削計画が出来ないか

答 検証させていただきたい

問「観光行政について」天城町の景勝地でもありますムシロ瀬地区の整備について（温泉掘削計画が出来ないか）。

答 ムシロ瀬地区の整備（温泉掘削計画）については、令和3年第3回定例会において温泉源の可能性について議論を交わしたと認識している。今一度関係課を中心に民間企業との連携

も模索しながら検証させていただきたい。

問 町内の観光地の現状と課題について。

答 観光客だけに留まらず、町民にも憩いの場として親しまれていると認識している。課題としては町内観光へのアクセスに対するマップ等の整備、今後増加が見込まれる外国人観光客（インバウンド）へのガイドや通訳等

の人材確保、育成課題に向けて取り組んでいきたい。

問 世界自然遺産登録後の観光客の推移について。

答 徳之島全体で令和元年に入込客数14万3千883人を記録した。新型コロナウイルス感染症の影響で減少に転じたが令和5年には令和元年との比較で約9割回復した。今回天城町が国内で8地域目のベスト・ツーリズム・ビレッジに認定された。更なる入込客の増加を目標としながら本町観光行政の充実に努めていきたい。

問 県道629号線の与名間集落から松原集落の中間点である海側の空地に展望台の設置が出来ないか。

答 東シナ海を一望できる素晴らしい場所であると感じている。空地については一部国立公園第2種特別地域に区分されている。今後環境省並びに所有者と協議し前向きに検討する。

問「建設行政について」町営住宅の建設と待機者状況について。

答 天城地区において令和5年度繰越の公営住宅建設事業で名須C団地A棟（1棟6戸）、令和6年度名須C団地B棟（1棟8戸）を発注予定。令和6年12月1日現在で40世帯が待機中である。

問 今後の計画について。

答 令和8年度に現在天城町長寿命化計画の見直しを計画している。令和7年



平山 栄助 議員

動画はコチラ
00:06:00～



度は名須C団地C棟
1棟2戸木造、令和
8年度は兼久団地1
棟8戸木造、その後
は戸ノ木団地非現地
建替えなど順次計画
していく。

問 与名間集落に町
営住宅の建設が出来
ないのか。

答 現行の天城町長
寿命化計画では町営
住宅建設は計画して
いない。戸ノ木団地
の非現地建替えの計
画の中で組み込んで
いけないかと考えて
いる。

問 【農政について】
イノシシとアマミノ
クロウサギによる食
害対策について現状
のままでいいのか。



アマミノクロウサギ

トも取り入れている。
大島郡の農政推進協
議会においても課題
となっており今後議
論を深めていきたい
と考えている。

問 さとうきび対策
について。

答 基幹作物である
「さとうきび」につい
ては社会情勢の影響

を受けにくく、大き
な利点であると考え
ている。生産性の向
上が所得向上に直結
する作物である。さ
とうきびの対策とし
ては適期栽培管理の
推進、雑草対策の徹
底、病害虫並びに鳥獣
被害対策などにしつ
かりと取り組んでいく。

議会を傍聴してみませんか



手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴人受付票に住所・
氏名を記入していただくだけです。

議会を傍聴することは町政を知る良い
機会ですので、ぜひお越しください。

また、A Y Tにて当日の生配信及び後
日の再放送、インターネット動画配信サ
イト YouTube（ユーチューブ）でもご覧
いただけます。



【令和6年12月議会】提案された議案等の議決結果

		件 名	議決結果
12月議会	その他の議案	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	原案可決
		解説 「大口地方卸売市場管理組合」の解散に伴い、鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更を決めた。	
		令和5年度（繰）公営住宅建築工事1工区請負変更契約について	原案可決
		解説 令和6年5月17日に請負契約を締結した令和5年度（繰）公営住宅建築工事1工区請負変更契約を決めた。	
		令和5年度繰 あまぎ自然と伝統文化体験館建築工事（2工区）請負変更契約について	原案可決
		解説 令和6年6月6日に請負契約を締結した令和5年度繰あまぎ自然と伝統文化体験館建築工事（2工区）の請負変更契約を決めた。	
	令和6年度補正予算	令和6年度天城町一般会計予算補正（第7号）について	原案可決
		解説 歳入歳出予算にそれぞれ1億3百万3千円を追加し、予算総額を74億4千709万4千円とした。	
		令和6年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正（第3号）について	原案可決
		解説 歳入歳出予算にそれぞれ1千207万円を増額し、予算総額を10億5千650万4千円とした。	
		令和6年度天城町介護保険事業特別会計予算補正（第3号）について	原案可決
		解説 歳入歳出予算にそれぞれ1千552万8千円を増額し、予算総額を8億9千383万2千円とした。	
		令和6年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決
		解説 歳入歳出予算にそれぞれ268万4千円を減額し、予算総額を9千298万1千円とした。	
		令和6年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算補正（第2号）について	原案可決
		解説 歳入歳出予算にそれぞれ100万円を増額し、予算総額を6千972万1千円とした。	
		令和6年度天城町水道事業会計補正予算（第4号）について	原案可決
		解説 営業費用を568万7千円の増額、営業外費用を568万7千円の減額による水道事業費用の組み替えを決めた。	
	請願1	天城町民の命を守るための、奄美大島血液供給体制に関する請願について	採 択
		解説 奄美地域を含む離島は、限られた医療資源の中で急性期医療等に対応していかなければならず、また天候等によりその輸送手段も左右されてしまうことから、血液製剤の備蓄機能が失われてしまえば人命への甚大な影響が懸念される。今後、奄美地域全体において輸血用血液製剤を安定的に供給していくために、奄美大島への血液備蓄所再設置、遠隔地の地域中核病院に対する迅速な血液供給体制の構築、離島地域における平時の血液供給の許容に対する要望について賛同する。との意見が多く全委員一致で採択すべきものと決定し、本会議においても全会一致で採択した。	
	議会が提出した案件	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	原案可決
		各常任委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	採 択
		天城町民の命を守るための、奄美大島血液供給体制構築を求める意見書案について	原案可決
		解説 天城町民の命ひいては奄美群島民の命を守るために次の事項について意見書提出を決めた。1. 唯一の血液供給会社である日本赤十字社が主体となり、かつてあった奄美大島への血液備蓄所再設置を進めること。2. その島での血液備蓄ができていた旧備蓄医療機関制度に近い制度、つまり、日本赤十字社を主体とした遠隔地の地域中核病院に対する迅速な血液供給体制を構築すること。3. 天城町を含め血液供給に本土の何十倍も時間を要する離島地域においては、緊急時のみではなく平時の血液融通を認容すること。	

令和6年 町民と議会と語る会

令和6年10月28日（月）、天城町役場4階「ユイの里ホール」において令和6年町民と議会と語る会が開催されました。

この語る会は町民の皆様が日頃お考えになっていること、困っていること、疑問などについて意見を聴取し、議会活動に反映させることを目的として実施しています。



※町民の皆様からいただいたご意見、ご質問等は令和7年3月頃に町ホームページへ掲載予定です。

編集後記

令和6年12月定例会の「議会だより」をお届けできること、大変嬉しく思います。寒さ厳しい季節が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。本号では、町民の皆様にとって重要な議会の議論や決定事項をわかりやすくまとめました。ぜひ、ご覧いただき、町の発展に向けた情報を共有いただければ幸いです。

終わりになぞかけを一つ。「ブーカの時代」とかけて「ウエルビーイング」ときます。その心は「ユイの心が大切です」。ブーカの時代とは、コロナの流行・ロシアによるウクライナ侵攻・能登半島地震を含む大規模自然災害等予測不可能な時代の事を言います。ウエルビーイングとは、個人や地域、社会が持続的に良い状態であることを言います。「ユイの心」とは、どんな時代、状況にあっても通用する普遍的価値「思いやり・やさしさ・助け合いの心」を言います。

今年の干支である巳は金運が向上し、変化と再生の象徴とされています。この象徴にあやかり、町民の皆様のご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げます。編集後記とさせて頂きます。

議会だより編集委員 奥 好生

発行／鹿児島県 天城町議会
編集／天城町議会だより編集委員会

〒891-7612 鹿児島県大島郡天城町平土野 2691-1
TEL (0997) 85-3111 FAX (0997) 85-3110
<http://www.yui-amagi.com/>